

聖化

Japan Holiness Association

〔発行〕日本聖化協力会

2024.4.26
No.70



主イエスをみつめて

宮城聖化交友会 会長

小泉 創

宮城聖化交友会は、長く会長を務めてこられた田中敬康先生から、バトンタッチの時期を迎え、小さき者がその任を受けさせていただくこととなりました。田中先生の長きにわたるご真実なお働きに感謝し、主にある愛する先生方、兄弟姉妹と共になおよき交わりが与えられることを期待しております。

宮城聖化交友会の活動の中心は、秋の聖化大会開催です。様々な先生方にご奉仕いただき、恵みにあずかってきました。昨年は久しぶりの対面での開催となり、信頼する先生方とともに奉仕をする喜びを感じました。神様が私たちを聖なるものへと導いて下さるのは、私たちが互いに愛し合うためであることを実感いたしました。

今、私たちはフェイク、不真実、暴力、支配が横行している世の中にいます。本当に希望があるのは、神の真実、愛であることを強く思います。クリスチャンが地の塩、世の光として用いられていくためには、主の聖さにあずかることは欠かせません。「聖さのない宣教など無駄な働き」ということが心に残っています（英国・ナザレン神学校「聖化の再発見・上」、いのちのことば社、65頁）。

私も信仰に導かれてから、主の聖さにあずかりたいと励ましを受け、恵みをいただけてきました。それでも伝道者・牧会者として立たせていただいていた年の年月を思い、胸に手を当ててみると、多くの恵みと共にさまざまな痛みも思い起こされます。愛することの足りなさ、身近な人に強圧的な態度を取ってしまったこと、交わりを負担に思ったこと、無責任に投げ出してしまったこと、世と調子を合わせてしまったこと……、限りがありません。

それらはペテロがイエス様に憧れ、水の上を一緒に歩きはじめたときの場面に重なるように思えます（マタイ一四・28～33）。意気揚々と歩き始めたペテロは、しかしふと主から目をそらして風を恐れ、沈みかけ、「主よ、助けてください」と叫びました。主イエスはペテロの手を握って引き上げて下さいました。同じように主は、沈んでいく私の手を何度もつかんでくださったと思うのです。

交友会を通して、私たちは、互いに励まし合い、主イエスを見つめ続け、互いに成長していきたいのです。そして今の時代の中で、主の聖さの証し人として、用いていただけることを願っています。

もくじ

- 巻頭言メッセージ…………… p.1
- 2024年聖化フォーラム講演…………… p.2-3
- きよめの証し…………… p.4-5
- ロン・スミス博士の紹介…………… p.6
- 事務局からのお知らせ…………… p.7
- 聖化大会日程、書籍案内、編集後記… p.8

聖化と宣教

次にどこにむかうのか。主はきよめられた私たちに何を期待されるのか。これまでとは違う実践的な切り口で聖化を語っていただきました。質疑応答も活発で、盛り上がりしました。

聖化に向かう宣教

日本イエス・キリスト教団 西宮聖愛教会牧師

鎌野 善三 師



与えられたテーマは、①義と認められた人々を聖化の恵みに導くための宣教、②聖化の恵みにあずかった人に湧き上がる宣教の動力、という二つの意味をもって思うように思われます。

確かに聖化と宣教は深くつながっています。マルコ三14、15に、「イエスは十二人を任命し、彼らを使徒と呼ばれた。それは彼らをご自分のそばに置くため、また彼らを遣わして宣教をさせ、彼らに悪霊を追い出す権威を持たせるため」と記されています。弟子はまず主のそばにいてそのことばと生き方に接し、その後、使徒として宣教に遣わされていったのです。

1 ペテロの経験

一例としてペテロの歩みを考えてみましょう。彼は主とお会いして自分の罪に気づいた後、弟子として召されました。「生ける神の子」と信仰告白をした直後に、受難を信じなかったので叱責されました。変貌山や洗足の経験をしたにも拘わらず、三度も主を否認しました。しかし復活後、「わたしの羊を養いなさい」と主の委託を受けました。失敗を繰り返しながらも成長し、ペンテコステの後には大胆に宣教

する者へと作り変えられたのです。

2 聖化の経験と成長

ペンテコステの日、弟子たちは「聖霊のバプテスマ」を受けました。肉体をもたれた主イエスは召天されましたが、聖霊として彼らと共におられることを悟ったのです。宣教の原動力は聖霊によって与えられ、宣教は神と隣人に対する「全き愛」によって進展します。表現は違っても、聖霊に満たされ、愛の主イエスと深くつながるとき、「すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられる」神のみ旨を悟り、宣教の情熱に燃やされるのです。

ペンテコステの後も、「屠って食べなさい」という声がかきつかけとなつて、ペテロの目は異邦人宣教に対して開かれました。それが聖霊の導きだったことは明白です（使徒一一12）。聖霊は一度だけ彼にくだったものではありません。聖霊として共におられる主との交わりを常に持っていたからこそ、死に至るまで宣教に励むことができました。

3 個人的聖化から教會的聖化へ

ペテロは聖霊に満たされて福音を宣べ伝えました。他の弟子たちも全く同じです。バルナバやピリポ、また、名

も記されていない多くの人々の働き、さらに後のパウロの宣教の旅も忘れてはなりません。その結果として「教会は、……全地にわたり築き上げられて平安を得た」（使徒九31）のです。その後2千年間、福音は主イエスを信じる人々の共同体である教会によって全世界に広がりました。主との交わりは、個人的な聖化をもたらずだけではなく、教会の中に広がっていきます。

個人的聖化が強調され過ぎて、「きよめられてない」とだれかを批判するようになってはなりません。教会の皆が「愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに向かつて成長する」必要があります（エペソ四15）。素晴らしいきよめの体験をもつだけでなく、弱い自分を愛してくださる主イエスに拠り頼む人を通して、福音は伝わっていく実例をあちこちで見聞きます。

「常時喜悅・不断祈禱・万事感謝」が自分の生活に実現するよう、主との交わりを深める弟子となりましょう。その結果、周囲の家族、職場や学校の友人に福音を宣教する使徒へと成長させていただけるのです。

第7回JHA聖化フォーラム



3月4日（月）日本聖化協力会評議員会の前に第7回「聖化フォーラム」が開催されました。今回のテーマ「聖化と宣教」。きよめの恵みにあずかった私たちが、

聖化から宣教へ

イムマヌエル綜合伝道団 中目黒教会牧師

梅田 登志枝 師

ノンクリスチャンの家庭に生まれた私ですが、小学2年の時、罪をお詫びしてキリストの赦しを信じました。

中学時代、教会学校キャンプで、ある友人に対して、長年、嫉妬心を持ち続け、意地悪な行動をやり続けていることを示されました。十字架を見上げ、醜い思いからも解放して平安な心にしてくださるよう祈り、きよめの信仰へと導かれました。

その後、信仰の姿勢は変化し、「献身」についてより身近に考えるようになりました。「ジャンゲルの5人の殉教者」の本から感銘を受け、主に仕え、福音を伝える生き方ほど素晴らしいものはないと思いました。神学校と言う独特な環境に行くことへの強い抵抗感があり、悩みましたが、大学卒業前、創世記一二・2を語られ、神に従う者への祝福を信じて、献身を決心しました。私が宣教への関心を持つようになったのはアメリカ人宣教師ご家族の輝いた姿によるもので、私の目を世界へ向ける大きな助けとなりました。また教団からインドに派遣された宣教留学生方が帰国後、教会学校を担当してくださったことで宣教地を身近に感じる機

会となったのです。

神学校卒業後は別府教会で副牧師をしました。そこで教会は宣教するため存在するというスピリットを教えられ、宣教は聖化の恵みからあふれ出た愛の力によることを学ばせて頂きました。

その後、結婚と同時に教会開拓に携わりました。結婚間もなく、夫が「今は教会員は自分たちだけ。でもいつの日か宣教師を送り出せるような教会を目指したい」というのです。まさに、宣教するために存在する教会を目指しての数年でした。開拓5年目、ジャマイカ派遣宣教師が事故で亡くなったことから、夫は自身が宣教師となるべく導きを与えられました。その数年後、二人の子どもとともにフィリピンに派遣されるに至りました。

派遣された地はフィリピンの北部山岳地。働きは孤児院内に聖書学校を開設し牧師を養成することでした。電気、ガス、水道がない生活ですが、不便さは馴れてくれば問題はありません。ところが、困ったのは自分自身の中に湧き上がる、様々な現地の人々や組織に対する批判的な思いです。この傲慢な

自分の姿に気づかされたのは娘を危険な状態で出産する体験を通してでした。

この貴重な経験を通して、やっと自分人々の愛と支えなしには、宣教どころか、ここで生きる事さえできない事に目が開かれたのです。キリストは神の座を降りて、しもべとして生まれ、十字架にまで従われたのに、私は人々を裁き、腕を組んで批判するばかりのなんと傲慢な人間かと、心から悔い改めました。これはきよめの信仰を更新する大切な出来事となりました。

国内の牧会に戻り、カンボジアを訪問した時、宣教師となったその神学校の卒業生と再会しました。彼が「あの神学生時代にきよめを教えてもらっていなかったら、今の自分はない。心から感謝している」と語りました。ただ主の聖名を崇めます。

私は聖化を信ずる教会の宣教の働きによって贖われ、聖化の恵みへと導かれ、献身し宣教師へと導かれました。真実に聖化の恵みに生きる人々がいる限り、神様はさらに聖なる人々を生み出し、宣教へと押し出すのです。まさに聖化は宣教の動力と言えるのではないのでしょうか。

私は1990年代後半に3年間、エレベーターの関連会社に勤めていました。職種は保守点検グループで、神戸の地でエレベーターを点検していました。働き出して2年目の時に、親会社に関連する子会社が複数、合併して大きくなりました。それに伴い事務所の中に神棚が設置されたのです。エレベーターの会社で働くには危険が伴います。大きなモーターの点検であったり、200V、400Vの高電圧も間近にあります。また、エレベーターの上に乗って点検もします。そこには、巻き込まれたり、感電したり、落下したり、1年間で無事故の年が無いほどです。ですから人一倍、私が勤めていた会社は、安全を意識していました。その結果、社長の考えで支店以上には神棚を設置し、月に一度、安全祈願をしなければならぬという事になったのです。

私はクリスチャンなので偶像に手を合わせるわけにはいかないと考えました。しかし会社で働く皆さんのために祈るということは大事だと思い、自分なりに対策を考え実行していたのです。どうしたかというと、祈願する時に司会者は神棚に近づくように声掛けをするのですが、私は反対に後退りして、一番後ろのほうに行き、天の父なる神様にお祈りしていました。数か月は何事もなく経っていききました。忘れもしない1999年9月の安全朝礼の時です。祈願するために皆が神棚のほうに歩いて行き、二拍二礼をしている時でした。仲の良い先輩が、私の祈っている姿を見て、
「なぜ、二拍二礼をしないんだ？」
と言いました。私は

私のきよめの証し

献身への道はこうして開かれた

基督兄弟団 大阪教会牧師

寺東 真也
てらひがし しんや



「クリスチャンなので他の神を拜むわけにはいかないのです」

と言いました。すると、先輩は笑いながら、

「みんな真剣に拜んでる奴なんかおらんで！ とりあえずやったら足並みが揃うやんか」

と言いい、その場はそれで終わったのです。

しかしその後、喫茶店で祈願について再度、注意されたのです。あまりにも私が拒むので先輩は怒ってしまい「おまえは仕事と神様どっちを選ぶねん！」

と叫びました。私もつい感情的になってしまい

「神様を選びます！」

と叫び、答えてしまったのです。その時から、先輩の態度は一変してしまいました。会社での人間関係はボロボロになって行き、話をしてもらえないどころか、迫害に会うようになったのです。私は神様に真剣に祈り始めました。正直に言うと、神様が敵を叩きのめしてくれるようなことが欲しくて欲しくて、聖書を適当に開いて、自分に都合の良いみことばを探したのです。そんな私に、神様は正反対のみことばを下さいました。

『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。』（マルコ二・31）

『自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい』（マタイ五・44）

『もしあなたの敵が飢えているなら食べさせ、渴いているなら飲ませよ。なぜなら、こうしてあなたは彼の頭上に燃える炭火を積むことになるからだ。』悪に負けてはいけません。むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい。』

(ローマ二・20、21)

わたしは呆然となってしまいました。そんな事できつこないと神様に怒りの祈りをしたのです。そして、半分投げやりになりながら、無理矢理にでもやってやろうではないかと考えたのです。あの手この手で、先輩の機嫌を取ったり、無視される中、積極的に挨拶をしたりしました。そしてとうとう限界が来たのです。私は燃え尽きた灰のようになって、通勤電車の中で涙ながらにもうダメですと祈りました。その時、一つのみことばが一筋の光のように与えられました。

『わたしの愛の中にとどまりなさい』(ヨハネ一五・9)

私は頭をハンマーで殴られたような衝撃を受けました。神様が敵を愛し、祈り、善を行えと無茶振りしてきた事に傲慢になって、やってやろうじゃないかと応えたけれども、私の中には愛の「あ」の字もなかったこと、そして、神様は初めから無茶振りをされたのではなく、神様の愛の中に招いてくださったことに気付かされたのです。すぐさま私は、主の前に平伏して悔い改め、主の愛で満たしてくださいと祈ったのです。すると神様はなんとも言えない主の愛と平安で満たしてくださいました。その後にもう一つみことばが与えられました。

『あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となる事によって、わたしの父は栄光をお受けになります。』(ヨハネ一五・8)

これによって献身を迫られました。今まで、受けてきた恵みを思えば、これからの人生を主に献けても惜しくはないという思いが湧いてきて、そうさせていだき



と祈りました。

ただ一つの問題がありました。人間関係がボロボロのまままで献身するために会社を辞めてしまうのは、蹟かせてしまうのではないかと心配だったのです。そして当時の牧師に相談に行きました。その時、こうアドバイスしてくださいました。

「もし、君の献身の召しが本当であるならば、神様は先輩との仲を回復させて下さる。仲が回復した時、それを印として献身しなさい。その時が明日になるか1年後になるか10年後になるか分からないが、それまで祈り続けなさい。」

これを聞いた時、絶対に無理だと思いました。なぜなら先輩の態度は日に日に悪くなっていったからです。

しかしある日の朝、その先輩がわたしの肩をポンとたたいて「元気か?」と言ったのです。それまでならば、無視か、ひどければ何も言わずに頭を叩かれるかなのです。でも一度だけで元に戻ったと決めるのはいけないと思います。一週間様子を見る事にしました。しかし、次の日以降も先輩は変わって、元の優しい先輩に戻っていたのです。それに留まらず、以前よりもさらに仲良くなったのです。後に先輩になぜ私への態度が軟化したのか恐る恐る聞いたところ、分からないとの返事でした。献身のために会社を辞める際、多くの人は牧師なんかやめておけと反対したのですが、その先輩だけは応援してやってほしいととりなしてくれました。

こうして神様は私を整え、道を開いて献身生涯へ導いてくださったのです。

ロン・スミス博士をご紹介します!



奉仕分野においては、1982 年、合同メソジスト教会の青年牧師として教会開拓を皮切りに、フランス・アズベリー協会事務局長を経て、1998 年、若くしてウェスレー・ピブリカル・セミナリー（WBS）第 5 代学長に就任、デニス・キンロー博士らの絶大な信頼を受け、13 年間実りある奉仕をされました。退任後、フィラデルフィアにおける牧会、フランス・

知性と霊性、学識と行動力が見事にブレンドされた神の器です。米国始め、世界各地で講演、講義、説教活動をしておられますが、2014 年、日本聖化協力会の招きを受け、日本各地の一連の聖会で素晴らしい奉仕をされました。揺るぎない聖化信仰とバイタリティーに富む行動力を持つ博士こそ、日本聖化協力会 40 周年記念大会の講師に最もふさわしい器であると信じて止みません。

聖化の
主のようになくなる
RICHARD CHRISTIAN HOLMES
英国「サレ」神学校長
本書に於いて「サレ」は「サレ」の意
再発見
旧約
教会史
いのちのてがね

本書は、大頭眞一先生を中心とする「焚き火を囲む仲間たち」による翻訳です。英国マンチェスターのナザレン神学校の「The Flaming Magazine」に掲載された教授たちによる「聖化」の連載がもとになっていきます。聖書学から聖化・聖潔までのように説いているのかを再検討しようとして、教師たちが取り組んだ論考です。それぞれの論旨に同意するか否かは別にして、まずはこの勇氣ある試みに拍手です。複数の研究者が、得意な分野で聖化を掘り下げることが、企画として意欲的で、好感が持てます。(各2200円)



直次郎 いそがしい



©富無尽蔵

JHA事務局からのお知らせ

★各交友会より最新情報のご提供をよろしく願います。日本聖化協力会宛にメールでお知らせください。
↓ kjha1985@aria.ocn.ne.jp

★「聖化誌」は許されれば今後も紙媒体で発行する予定です。PDF版はHPからダウンロードできます。

★日本聖化協力会の振替口座をお知らせします。ゆうちょ銀行 00180-2-281255「日本聖化協力会」です。献金の送付などにもご利用ください。

★現在テレワークでの事務を行っています。そのため事務所が不在の場合はメールでのお問い合わせをお願いします。緊急の場合は、事務局の古波津美嗣・川崎南部キリスト教会044(2663)3648へご連絡ください。

News

神学生交歓会 JHA、JEF で開催

学びと励ましの機会に



左上:関東JHA聖化大会で神学校紹介 右上と下:JEF神学校合同リトリートで学びの時間



献身者が減少し、神学校はどこでも在校生の少ない中ですが、JHA、JEFそれぞれで神学校の交歓の機会が持たれています。関東聖化大会の期間中に互いの神学校紹介の機会がありました。1月末にはJEFの合同リトリートが開催され、学びの時間が持たれました。

神学校の垣根を越えて折り合い、語り合う機会は神学生にとって励ましの時となります。神さまの召命を確認する貴重な機会として活かされています。

続々と、電子書籍化を進めます！

Amazon Kindleストアで発売中です



電子書籍「エマオの道で」を販売中です。ご好評をいただいている「聖化の説教 旧約編I」「聖化の説教 旧約編II」「聖化の説教 新約編」の3巻も電子書籍化しました。Amazon Kindleストアで検索し、ぜひご購入ください。

2024年に開催される各地の聖化大会

北海道聖化大会	5/22,23	岩上祝仁師	北海道クリスチャンセンター
宮城聖化大会	9/16	徳田文彦師	未定
山形聖化大会	9/23	横田法路師	COG大江町教会
栃木聖化大会	5/26	川崎 豊師	ウェスレアン・ホーリネス塩谷教会
関東聖化大会	10/21,22	未定	インマヌエル中目黒教会
関東青年大会	5/26	朝澤義人師	COG川崎教会
東海聖会	6/22,23	吉澤慎也師	活けるキリストー麦教会
東海聖化大会	10/20	未定	インマヌエル名古屋教会
遠州聖会	2025/2/9	大兼久芳規師	インマヌエル浜松教会
ウェスレーに学ぶ会	5/24	戸谷富士子師/久保木聡師/畑野順一師/木村大輔師	救世軍セントラルホール
ウェスレーに学ぶ会	10/25	未定	ナザレン大阪桃谷教会
岡山聖化大会	10/27	工藤弘雄師	日本イエス・キリスト教団神の国教会
四国聖化大会	未定	未定	
九州聖化大会	未定	未定	

聖化の説教 全3巻 (旧約編2巻、新約編1巻)



旧約編Ⅰ

定価 1,650 円 (税込)

創世記からエ
ステル記まで、聖
書の英雄的な行
動や惨めな失敗、
信仰の輝きが...



旧約編Ⅱ

定価 1,650 円 (税込)

ヨブ記からマラ
キ書まで、知恵文
学、詩歌、預言者
によって語り継が
れた聖化の恵み。



新約編

定価 1,980 円 (税込)

新約聖書の各
巻から 25 の説教
で聖化の恵みに
触れることができ
る待望の説教集。

お近くの聖化交友会にご加入ください

聖化交友会には教団、教会、個人でお加わり
いただけます。聖化の恵みを私たちの心に、そ
して教会に、さらにお住まいの地域に広げてい
きましょう。詳細は各地域の聖化交友会にお問
い合わせください。http://jha.christ.gr.jp/

北海道聖化交友会／宮城聖化交友会／山
形聖化交友会／栃木聖化交友会／関東
聖化交友会／東海聖化交友会／ジョン・
ウェスレーに学ぶ会(大阪)／岡山聖化交
友会／四国聖化交友会／九州聖化交友会



編集後記

聖化 70 号をお届けします。聖化誌はこの号が
記念すべき 70 号になります。JHA は明年に創
立 40 周年を迎えます。周年行事は得意ではあり
ませんが、ここまで一歩一歩主に助けられ、支え
られた事は証しし、また感謝しなければなりません。
40 周年をどのように記念するか、まだ詳細

聖書の輪郭 (新刊書)

岩上敬人著 定価 3,300 円 (税込)

聖書通読のためのガイ
ドブックです。各書の全体像を
つかむため大まかな内容、背
景等を解説し、文脈と構造全
体から紡ぎ出される豊かな
メッセージが理解できるよう
に構成されています。各書に
チャートがついています。



は決まっていらないようです。ただロン・スミス博士
をお迎えすることは確定しています。エベン・エ
ゼルは第一サムエル 7 章です。サムエルの生涯
はここで終わりではなく、ある意味でここから始ま
ったとも言えます。さて JHA はどうでしょうか。明
年が希望に満ちた進発となりますように。(矢木)

聖化 No.70 2024 年 4 月 26 日発行

発行 日本聖化協会の 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 電話／Fax 03 (3293) 5130
E-mail kjha1985@aria.ocn.ne.jp URL http://jha.christ.gr.jp/ 編集担当：矢木良雄／錦織 寛